



住宅用火災警報器のメンテをしよう!! 北守谷地区の建物火災、3件発生

守谷市 火災件数推移 令和8年1月7日

和暦	西暦	守谷市	常総市	つくばみらい市	計
令和2年	2020	23	16	22	61
令和3年	2021	17	22	22	61
令和4年	2022	21	17	15	53
令和5年	2023	11	29	14	54
令和6年	2024	18	38	23	79
令和7年	2025	23	39	32	94

12月24日に富山署長にお話を伺いました。令和7年度の守谷市の建物火災は23件、北守谷地区では3件の建物火災が発生しました。火災ゼロを目指していたために、大変残念でした。守谷市でも過去3年間では前年比28%増で一番多く、うち住宅火災は13件でした。火災で亡くなられた方もおりました。

全国的に火災による死者が増えており、住宅用火災警報器は死亡事故を防ぐ有効な方法です。**作動確認や更新を**してください。火災を未然に防ぐために次の対策を徹底して下さい。危険だと思われる家があれば市役所に情報提供してください。



守谷消防署 富山署長

令和7年(2025) 火災原因の内訳

	守谷市	常総市	つくばみらい市
建物火災	13	13	14
車両火災	2	4	0
その他	8	22	18
計	23	39	32

< 対策 >

1. 住宅用火災警報器を設置しているか、設置している場合、**電池切れしてないかを確認する。**
2. リチウム電池は充電ができなかったり、充電中に異常に熱を持った時や本体が膨らんだ時はすぐやめる。廃棄処理で一般ごみと一緒に絶対に捨てないこと。必ずリサイクル処理を!
3. 整理整頓、片づけがされていない家での火災発生率が高い。
4. 放火防止：ゴミは夜中には出さないこと。また、火種となる段ボールなどを駐車場や屋外におかないこと。(放火されやすくなります)
5. 電気、通電火災防止：コンセントにゴミが溜まり水分を吸ってショートする場合の通電火災等には十分注意してください。たこ足配線による電線の電流オーバー、**発熱する機器につないだ電気コードを手で触わり熱くなる場合は必ず取り換えて下さい。**
6. 火の不始末防止：火災原因の多いのは相変わらずたばこの不始末です。ストーブの消し忘れ、コンロの火から目を離さないこと。野焼きは届け出以外は禁止!

救急車出動回数	2025年		2024年	
守谷市	2939	39%	3023	39%
常総市	2044	27%	2053	27%
つくばみらい市	2482	33%	2663	34%
計	7465	100%	7739	100%

救急車の出動回数が毎年増加している状況でしたが、昨年の新しい病院選定療養費の有料化の影響もあり、前年比で3%強出動回数が減少しました。**常総広域消防全体の39%**を占めましたが、人口比でも同比率でした。今後も適正な救急車の利用を目指しましょう

北守谷地区自治会防災担当者会議

10月26日(日)自治会の防災担当者会議が開催され、染谷消防副署長と市役所の健康長寿課 地域ケア推進 G の吉井様の講演がありました。また、今回の会議では今後の北守谷地区防災と自治会の行う自主防災の組織のあり方についての話し合いが行われました。



染谷副署長の講演

緊急時に備えていますか? 備えあれば憂いなし



吉井様の講演

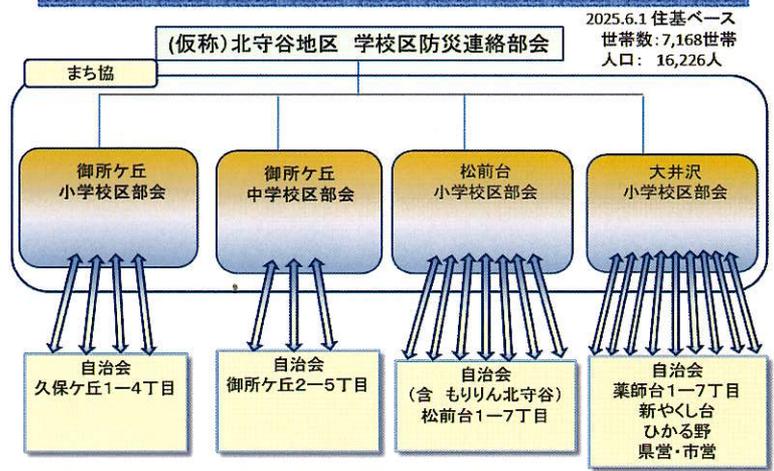
染谷副署長のお話では、大地震の際の火災発生、混乱による情報伝達の正しい入手の仕方など、2次災害を如何に防ぐか具体的な例を挙げて説明されました。**吉井様の「備えあれば憂いなし」**の講演では、2024年1月1日発生の能登半島地震災害支援活動にご自身が茨城県保健師派遣に協力要請に基づき派遣され、活動した体験を話されました。

現地入りした1月8日から地震直後の災害状況を目の当たりにして気づいた点から、我々の参考になる事を伝えてくれました。昨年は松前台2丁目の渡邊さんが災害ボランティアとしての実体験から**日頃の準備無くして、いざという時には役立たない事を強調**されました。今回は保健師の観点から**普段から出来る備えと地域との繋がりの重要性を痛感**されていました。今回の災害では指定避難所では十分ではなく、164ヶ所の避難所ができてました。自宅の倉庫を避難所にして数名単位で避難所生活をされている事や、トイレの重要性を痛感された事など、生々しい体験を聞かせて頂き、大変参考になりました。

学 校 区 防 災 連 絡 部 会

ここ数年の懸案事項でありました、北守谷地区の防災組織を一つにまとめる準備検討会が2回、7月6日と10月6日に行われました。昨年発行の防災部会便り第12号に掲載した組織案について、7月の準備検討会で了承を頂き、10月の会議ではより具体的に自治会と学校区防災連絡部会(仮称)の連携のあり方を話し合い、右図にある組織案に対して、各出席者の賛同が得られました。来る2月14日(日)に予定している第3回の会議ではより実現性のある組織の進め方やスケジュールの検討を行う予定です。昨年11月、12月のまちづくり協議会主催の学校区防災訓練において、避難所における仕事の内容が明確になりました。それらを各自治会の防災訓練と連携づけて各自治体が活動しやすい新組織の発足を目指します。

新しい防災組織 自治会との連携 小学校区単位)



7/6 と 10/6、学校区別でテーブルごとにメンバーが分かれての準備協議会 (北連協)



10/6 小学校区域の防災訓練説明会(まち協)

学校区防災訓練： 避難所設営訓練 4地区 5カ所で開催！！

今年度のまちづくり協議会主催の地区防災訓練において、学校区単位の(御所ヶ丘、久保ヶ丘、松前台、薬師台地区)指定避難所5カ所で避難所設営・運営訓練を行いました。11月29日(土)は松前台小、もりりん北守谷、学びの里(大井沢小の体育館修理で使えず)の3カ所同時、12月6日(土)は御所ヶ丘小、御所ヶ丘中の2カ所同時開催しました。

避難所設営、運営は行政ではなく、関係する自治会が主体となるため、各自治会に協力要請があり、準備チームが結成され、2回の説明会と11月9日のリハーサルを経て行いました。訓練の本番では一般避難者を受け入れ、受付でトリアージを行い、正常者と病気、災害時要支援者を分けてテントや段ボールベットづくり、簡易トイレの使い方、防災食品の紹介などが行われました。これまでにない規模にも拘わらず、無事終了することが出来ました。

自治会としても、学校区の防災訓練の必要性と役割を体感することが出来たと同時に課題も共有することが出来ました。

防災訓練の目的「DAY4」とは災害が発生してからすぐに避難所は開設されません。市役所が避難所の安全確認を行い開設するまでに3日掛かります。今回は「DAY4 から」つまり4日目以降は自治会が中心となって避難所を設営、運営することが規定されていますので、避難所に関わる自治会がその役目を果たすこととなります。

- 主な役割分担
- ① 被災者管理班(受付、トリアージ担当)
 - ② 施設管理班(会場設営)
 - ③ 食料・物資班
 - ④ 救護班
 - ⑤ 衛生班
- などです。今回は役割り説明を受け、10時より一般避難者の受け付け、トリアージをしました。

令和7年(2025年度) 学校区防災訓練 避難所別 参加実績

実施日	避難所	自治会	準備メンバー	一般避難者	(子供)	まち協	合計	市役所	消防分団	総計
12月6日	御所ヶ丘小	久保ヶ丘1-4	6	21	7	5	32	5	3	40
	御所ヶ丘中	御所ヶ丘 2-5	15	34	4	4	53	6	3	62
11月29日	松前台小	松前台1-5	11	27	3	4	42	5	4	51
	北守谷公民館	松前台6, 7	7	15	0	3	25	5	4	34
	大井沢小(学びの里)	薬師台1-7 新やくし、ひかる野	25	36	6	3	64	7	6	77
合計			64	133	20	19	216	28	20	264

11/29 3 箇所同時開催

もりりん北守谷にて



屋外で受け付けトリアージ



キッズスペース



トイレの使い方

松前台小にて



屋外で検温・総合受付



屋内での一般受付



段ボールベットの組立

学びの里にて



防災食の説明



子どもクイズコーナー



携帯トイレの使い方

12/6 2 箇所同時開催

御所ヶ丘中にて



屋外での総合受付



自治会別参加者へ訓練内容の説明



テントの組立て、2人用です

御所ヶ丘小にて



役割分担の指示



段ボールベットの寝心地は？



役割分担の説明



簡易トイレの説明、水を一袋1Lまで凝固可能

松前台2丁目 防災訓練 6月29日、12月7日 大山公園

松前台2丁目は毎年2回自主防災訓練を実施しています。一回目の6月29日(日)防災訓練のメインイベント搬送訓練でした。要支援者宅の近くから避難所まで車椅子で搬送する5つのルートを設定して、自宅から避難所経由で大山公園の防災本部まで搬送しました。途中の危険個所の確認、段差、坂の車椅子の操作確認など、実際の道路や歩道を使っでの訓練は大変よい体験となりました。このほか、12月7日は炊き出し訓練と防災クイズによる啓発活動を行いました。



町内5箇所から松前台小の避難所に行くルート



実施前の車椅子の使い方練習

段差や坂道は注意が必要です

災害時要支援者の避難訓練 避難時間

2025.6.29

出発場所	担当班	出発時間	松前台小 到着時間	防災本部 到着時間
いまの家	1, 2班	9:55	10:01	10:09
ブックオフ	3, 4班	9:59	10:05	10:15
クーロンヌ	5班	9:55	10:04	10:15
8班の空き地	7, 8班	9:52	10:01	10:10
10班の空き地	9, 10班	9:52	9:59	10:08

避難ルートは最長 500m で設定し、さらに小学校から本部までは約 300m、合計約 800mの搬送をしました。移動時間は出発点から小学校までが 6~10分、それから本部まで10分、計20分程度でした

松前台1丁目 防災訓練 6月1日 大山公園

環境美化に日に合わせて、防災訓練を行っています。主に啓発活動を中心としており、今回は75名が参加しました。自主防災組織は活発に活動しており、防災だよりを都度発行しています。この防災だよりは11月29日の松前台小で行った学校区防災訓練の会場に展示して啓発に努めました。



防災だよりを掲示

防災部員による説明

松前台3丁目 防災訓練 11月16日 やまばと公園

11月16日に消防署員の指導のもと防災訓練を実施しました。晴天に恵まれて80名が参加しました。けが等もなく無事に終了することができました。消防署員によるAEDの操作の説明及び模擬実演は熱心に見学し、多くの参加者から質問があり、丁寧に回答していただきました。また、水を使用した消火器訓練も多くの人に体験してもらいました。

訓練の後はビンゴゲームで懇親を図りました。

また、9月7日には新しい取り組みとして、自治会のHPを作成し、スマホを利用して、安否を連絡を行いました。今後の課題も見えてきましたが、従来の方法と平行して利用できることを目標としています。



松前台6丁目 防災訓練 11月16日(日) 松の木公園

市の防災訓練に合わせて、安否確認を実施しました。

6丁目の自治会では7、8年前から、会員・非会員に関わらず、236全世帯を対象に実施しています。

会員179世帯の参加率は58%、非会員(66世帯)の参加率は32% 合計参加率50%でした。

残念ながら、昨年(58%、41%、56%)より低下しました。要支援者には戸別訪問を実施、参加率100%でした。同日午後から、町内会員対象に防災秋祭りを実施し、175名(うち子ども25名)が参加しました。

かまどベンチを利用し、非常食カレーを提供し、消火器訓練や非常トイレ訓練を実施し、子供向けには防災クイズを行いました。全世帯の安否確認を行う自治会が少ない中で大変貴重な情報だと思います。



防災クイズ

松前台7丁目 防災訓練 11月16日 もりりん北守谷

例年通り、当自治会では懇親会のプログラムに環境・防災コーナーを設け啓発活動を行いました。

啓発用のパネルは大変充実したもので、防災グッズを展示して分かりやすい様に工夫し説明しました。



女性コーラスとピアノ演奏・歌

防災グッズの展示

薬師台3丁目 防災訓練 11月9日

場所は3丁目の遊歩道橋下。当日はあいにく雨天となりましたが、参加者の協力により予定通り訓練を進めることができました。参加者は101名にのぼり、地域住民・関係者が一体となって防災意識を高める機会となりました。

<訓練内容>

- **本部立ち上げ訓練**: 災害発生時に迅速に本部を設置し、指揮系統を整える手順を確認しました。
- **情報収集訓練**: 現場からの情報を的確に集約し、伝達する方法を実践しました。
- **発電機訓練**: 停電時を想定し、発電機の設置・稼働手順を確認しました。
- **担架訓練**: 負傷者を安全に搬送するための担架使用方法を習得しました。
- **三角巾の使い方**: 応急処置に必要な三角巾の基本的な使用方法を学びました。
- **災害時に使える紐の結び方**: 固定に役立つ結び方を練習しました。

今回の訓練では、雨天という厳しい条件下でも、災害時に必要な基本的対応を確認できました。参加者の積極的な姿勢により、地域の防災力向上に大きく寄与したと考えます。今後も継続的な訓練を通じて、さらなる防災体制の強化を図ってまいります。



発電機作動訓練



三角巾の使い方



紐の結び方訓練

薬師台2丁目 防災訓練 6月、11月10日 クワガタ公園

薬師台2丁目防災訓練は毎年2回以上防災訓練を積極的に実施しています。

今回は11月10日の訓練の様子を紹介します。

参加者は35名、内子どもが12名で消防署の指導で行いました。

① 本部設置 ② 消火栓の使い方訓練 ③ 消火訓練 ④ 濃煙テントの避難訓練

④ AED 使い方・心臓マッサージの救急救命訓練

4グループに分かれ、それぞれの訓練を実施しました。

我が町内会では「こどもは地域の宝」を合言葉にお子さんの参加し易い行事を行っています。訓練終了後は「炊き出し訓練」を兼ねた情報交換会を行いました。5班の大谷さんはいつも人気おじさん、マジックをしたり、風船のおもちゃ作りやヨーヨー釣り、シャボン玉ゲームなどをしてくれるので子どもたちは大喜びでした。

防災訓練は自治会内の日ごろのコミュニケーションづくりが一番大事なことです。大いに参考になります。



消火栓の蓋の開け方は毎年訓練しています



消火栓箱には20mのホースが2本入っています



終わった後は豚汁とすいとんを作りました



おもちゃづくりやヨーヨー釣りをしました



AEDの使い方訓練 最近は家庭内で発症する可能性もありますので皆さん一生懸命にやりました

久保ヶ丘3丁目 防災訓練 10月19日

立沢公園にて防災訓練本部設置、安否確認と消防署の指導で水消火器による消火訓練を行い、150名以上参加しました。この他、3月第1週には炊き出し訓練をしています。同自治会はこの他、毎月沢山のイベントを行っています。



炊出しチーム



前自治会長、現自治会長他



具だくさんのとん汁、美味しい!



水消火器で訓練

薬師台5, 6丁目 合同防災訓練 10月26日(土) 北守谷6号緑地

今年度は長年の懸案であった5丁目と6丁目での合同開催を企画、次の様な訓練を計画しました。

① 消火訓練 ② 通報訓練 ③ AED 訓練の他、発電機の操作訓練

更に、倉庫前広場で懇親会を実施する予定でした。しかし、準備万端でしたが、雨天のため、残念ながら中止しました。

薬師台7丁目 防災訓練 9月7日、10月26日 児童公園

9月7日は 本部設置、安否確認147世帯中100世帯参加、通報訓練、情報収集、発電機の操作確認の他、倉庫の整理を行いました。公園に集まったのは班長・役員中心に16名でした。

10月26日は 同じく児童公園にて、湯せん炊飯訓練、仮設トイレの設置、発電機の操作確認を行いました。

消防団の活動：消防ポンプ県南部操法協議大会 優勝!!

★ 北守谷地区は第11, 12分団が担当しています。昨年10月26日 取手市役所藤城庁舎で行われた第76回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南部地区大会において、11, 12, 13分団が所属する大井沢地区中隊が小型ポンプの部で見事優勝を果たしました。秒単位のスピードと正確性を競う大会で、日頃の厳しい訓練の成果を発揮し素晴らしい結果を得る事ができました。本当におめでとうございます。

★ 毎年11月から2月まで夜間防火警備巡回(夜警)を最低週2回、夕方7時ごろから行っております。「チリンチリン」の音がしたら感謝の気持ちを持ちましょう。



第11, 12, 13分団 優勝チーム



前田 泰輝さん

第12分団の前田泰輝団員は御所ヶ丘在の入団2年目、1月10日の出初式の表彰式で守谷市長より彰を海老原第11分団長、須賀第12分団長とともに「特別功労団員」の表彰を受けました。前田さんは守谷市にきて2年目、すぐに第12分団に入り、今回の優勝での活躍を称えられました。普段は都内でITエンジニアとして働きながら、消防団の活動をしています。今年2年目にはいい、様々な訓練を通して沢山の経験を積むことが出来て大変良かったそうです。消防の仕事に興味を抱く仲間が入ってくれることを願っています。

消防分団	分団長	受け持ち区域
第11分団	海老原一至さん 090 5793 3254	立沢の一部
		御所ヶ丘 薬師台(7丁目を除く)
第12分団	須賀 健一さん 090 4848 6092	久保ヶ丘
		松前台
		薬師台7丁目 大山新田
		大木の一部 板戸井の一部

<編集後記> ◆ 今年度は北連協の防災部会とまちづくり協議会の防災部会を一緒にした新しい組織づくりの準備委員会を立上げ、数回の会議を重ねました。来年度からはいよいよ「北守谷地区防災連絡部会」を立上げ、学校区部会に自治会の防災部会が連携するという新しい体制になっていきます。この新しい体制により、横の繋がりが強化され、各自治会のレベルの足並みが揃うことを期待しています。様々な訓練とおして、コミュニケーションが密になることです。こればいざという時に大いに役立ちます。今回の地区防災活動においても、11年以上地域の防災活動をしているために比較的スムーズに皆さんと話すことができたのは良かったです。一人ではできない事が塊になると大きな成果をあげます。ぜひ防災活動を盛り上げていきましょう。(増)